

摘 録

会 議 名 令和5年度第4回刈谷市文化財保護審議会

日 時 令和6年1月25日(木) 午前11時00分～正午

場 所 刈谷市社会教育センター

出 席 者 委員：山田孝、鈴木達夫、松原啓治、真島聖子、川崎みどり(敬称略)

事務局：鷹羽和久(文化振興監兼文化観光課長)、田代英徳(歴史博物館長)、鵜飼堅証(歴史博物館専門員)、永井優香子(歴史博物館学芸員)、野村啓輔(歴史博物館学芸員)

内 容

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 市指定文化財について【非公開】

(2) 県内研修の振り返り

(A 委員) 安城市の本證寺では、現地で土塁の遺構を見ることができて良かった。

(B 委員) 普段の業務で安城市の小学校の授業に関わっているので安城市の文化財の保存や活用について聞いて良かった。大河ドラマ館も旬の時期に見ることができて良かった。

(C 委員) 本證寺では、住職によってかつて行われていた寺の行事等を再現して開催するなど、活用への努力が感じられた。また、岡崎市は文化財の活用に熱意を感じられた。

(D 委員) 岡崎市は大河ドラマを上手に利用していると思った。安城市では、地域の人たちが集まり歴史を学ぶ同好会のようなものがあるが、そのような会と行政との繋がりをもう少し知れたら良かった。

(3) 文化財防火デーの振り返り

(A 委員) 訓練場所が毎年違うため、消防団や寺の雰囲気は異なり良かった。

(B 委員) 秘仏であり普段見ることができない県指定文化財を見ることができたので良かった。

(C 委員) 県指定文化財の説明を聞いた後に実際に見ることができて良かった。地域を守っていくためには消防団の活動も大切だと思う。

(D 委員) 普段は見ることができない秘仏を見ることができて、地元の方たちにも大切な文化財であることを改めて認識する機会になったと思う。

(E 委員) 地域の文化財について知ってほしいという思いがある。

(事務局) 今後の訓練にあたり、放水の向きや角度、水槽の設置場所など入念に打合せする必要があると感じた。

3 報告事項

(1) 十応寺所蔵資料について

(事務局) 東海学園大学の小野佳代教授から報告書が提出された。報告書の結果を基に、今後どのように扱っていくか来年度以降検討する。

《委員了承》

(2) 泉田古墳出土品の自然科学分析の報告について

(事務局) 出土遺物に付着していた赤色顔料と管玉の石材産地推定について分析結果が提出された。

分析結果は資料のとおりである。

(A 委員) 分析したことによって、泉田古墳出土品について、より詳細に説明することができるようになった。分析して良い成果が出たと思う。

(B 委員) 分析結果を研究紀要にも掲載できたら良いと思う。

4 事務連絡

(1) 次回日程について

(事務局) 令和6年3月6日(水) 午前10時から、歴史博物館で審議を行う。

《委員了承》

以上